

平成 30 年度 研究計画書

Research Plan FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカ II 講座 (イタリア語)・特任講師
氏名 Name	Luciana Cardi
専門分野 Academic Field	比較文学

平成 30 年度 研究計画 (ホームページで公開) Research Plan FY2018 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	比較文学—20 世紀のアメリカ文学における日本の民話の受容と意義				
研究計画 (400 字~500 字で記入すること。) Research Plan (Approximately 100 Words)					
<p>本年度は JSPS の科学研究費 (若手研究 B、研究課題番号: 00725632) を受けながら、20 世紀のアメリカ文学における日本の民話の受容と意義について研究する予定です。本研究の最終年にあたる 30 年度は、1990~2000 年代アジア系アメリカ文学を研究対象とし、Nora Okja Keller の『Fox Girl』と Larissa Lai の『When Fox is a Thousand』、Hiromi Goto の「Foxwife」などの作品の中で多様な文化間の媒介者として描かれている〈東アジアの狐〉の意義を分析したい。特に、様々な形に変身する狐の描写とアジア系アメリカ人のアイデンティティ問題の関係を明らかにしたい。</p> <p>上記の研究は異人論と異類の文学的な表象に関わる研究に関連するので、今年から国立民族学博物館の共同研究「グローバル時代における寛容性／非寛容性をめぐるナラティブ・ポリティクス」に参加することになりました。研究の代表者は関西学院大学教授の山泰幸氏である。この共同研究の目的は「他者」をめぐるナラティブと「異人」をめぐる説話や民話に関する統一的な視座を把握し、従来の異人論を再検討することである。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	日本の民話	アメリカと日本の比較文学	異人論		
キーワード Keywords*2	日本の民話の受容	アジア系アメリカ文学	狐	比較文学	